

豊かな暮らしを求めて

仲村小夜子先生講義「障害と生活の質」

相手の痛みを自分の痛みとして感じる「ちむぐりさんの心」を再確認できました。私の周りでストレスを感じている人がいたら、一緒に考えて手助けしていきたいです。



(宮城小百合)

▼生活の質によつて幸せになれるので私が気付ける手助けをしたいと思いまし
た。　（浜崎こずえ）

▼実際、不自由さ（障害）を体験し、気づく事が沢山ありました。身体・心の道筋を見つけて、

自分の行動のあり方や周囲の人への接し方も考えていきたいなど感じました。　（嘉数裕美子）

▼今は五体満足で生活しているけど、もし今なにか一つがなくなることを想像すると、今をしつかり自分でできることを率先してやりたいと思つた。例えば、きれいな景色、音楽などを見たり、聴いたりしたいなど…。

ない、満足を得られるような環境を整えることも重要。その通りだと感じます。しかし一人だけ満たされるのは、本当の意味で生活の質の向上ではなく、関わりあうすべての人がバランス良く暮らしていく事が本当の豊かな暮らしだと考えさせられました。ありがとうございます。（上原あゆみ）

▼障がいがあると、当たり前に出来ていたことも時間を使い、ストレスを感じました。普段あまりストレスを感じていなければ、私の周りの環境のおかげだと気

▼課題で、「幸せを感じる時を書きなさい」と言われて、なかなか出てこない！
ヤバイと思って、ゆっくり、自分を見つめ直さないといけないと思いま
した。
▼今日は、障害の疑似体
(仲本忍)

A group of approximately ten people are gathered in a room with light-colored wooden floors and walls. In the foreground, a man wearing a white polo shirt and dark trousers is looking towards the right. To his left, another man in a black long-sleeved shirt and dark pants is also looking in the same direction. Several women are standing in the background, some holding microphones and wearing lanyards. The atmosphere appears to be a formal event or presentation.

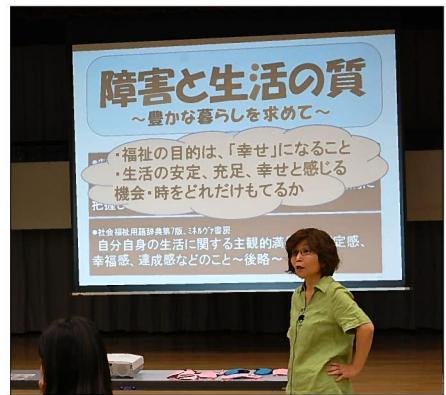
マス塾新聞

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
TEL937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM

SHAKYO.COM

だけもてるかということは、あらためて、深く納得した。今後、満足探しをはじめてみます。

(比嘉修)



が起ころうとも思ひません。お手玉投げで、名前を呼ぶ遊びをして、塾生の名前を少し覚えられて良かったです。あと、障害にはいろいろある事を知りました。

(幸地実結)

▼手袋をして、折鶴を折つたり、アイマスクをしてグループ作業など、身体の不自由さを疑似体験したことでも、障害がある人が抱えるストレスを味わえたのが、とてもいい気づきになりました。

(伊霸朋美)

▼今ある現実や幸福が、いつか何かのきっかけで、ひとりでは解決出来ない事も出来るんだと気づきました。

(宮里千裕)

(比嘉尚子)



のためには、まだ、た。相手が求める手助けをして、また、周りを見て、色々な世界を見て、助けにいたしました。あと、私は人見知りなので、人の目を見て、会話出来るようになろうと思いました。(島袋ひかる)

(護得久朝民)



いつも楽しい休憩時間！今回はミキからの重大発表で盛り上がりました！ヾ(*・ω・)ノ★